

平成22年度第1回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

- [日 時] 平成21年 4月6日 (火) 15:00～17:30
- [場 所] 琉球大学医学部管理棟 小会議室
- [参加者] 8名：上江洲富夫（沖縄県骨髄バンクを支援する会代表）、
吉田祐子（患者）、儀間昌子（沖縄県保健体育課課長）、
宮里 治（沖縄県健康増進課成人保健班）、
幸地 周（北部地区医師会）、高橋 慶行（県立中部病院）、
長井 裕（琉大病院産婦人科）、増田昌人（琉大病院産がんセンター）、
- [欠席者] 2名：上原忠司（那覇市立病院外科）、三木雅貴（患者）、
- [陪席者] 5名：大浜博文（ソニー生命）
蔵根 瑞枝、上原 美智子（沖縄県健康増進課成人保健班）、
栗山 登至（琉大病院がんセンター）
城間駒生（琉大病院がんセンター）、

協議に先立ち、資料1の平成22年度第13回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

[報告内容]

1. 委嘱状は次回の部会にて授与されることとなった。

2. リレーフォーライフについて

資料2に基づき、陪席者の大浜氏よりリレーフォーライフ2010について当日の参加者が1300人であったことが報告された。また吉田委員より、他の患者会の方との交流や患者さんと医療者の交流が上手く図れなかったことやメインステージは大変盛り上がっていたが、今回このイベントの本来の趣旨を確認した上で、次回からはもっと当日の設営や各ブースの広報の仕方に工夫が必要との意見が挙げられた。

リレー・フォーライフ実行員である大浜氏もこの件については来年度の課題として取り組んでいきたいと話した。また、当日配布された子宮頸がんに関するアンケート調査の結果より、検診を受けたか？との質問に対し約半分以上の方が2年以内に検診を受けており、今後知りたい情報として、がん予防について知りたいとの解答が挙げられた。

[協議事項]

1. 今年度事業計画について

資料3に基づき、今年度の事業計画について長井部会長を中心に協議が行われ、今年開催する講演会は9回行うことが承認された。

また、新たに子宮がん検診に関する学生向け携帯専用サイト（ブログ等）を構築し若年者への検診受診率のアップやHPVワクチンの接種率アップを図ることが今年どの事業計画案に追加された。

各講演会の詳細は以下の通りとなる。

学生（高校生向け）講演会	4回
一般向け講演会	1回
学校教員向け講演会	1回
看護学校向け講演会	1回
離島圏（宮古島・八重山）一般向け講演会	各1回ずつ 計2回
〃 学生向け講演会	各1回ずつ 計2回

また、今後の課題として、子宮がんワクチンが認可されたことから、県もしくは市町村単位でHPVワクチン接種の無料化が実現できないのか県の健康増進課宮里班長に協力を求めた。その他、増田委員より提案事項として一般向け講演会用の講師リストを作成してはどうかとの意見が挙がった。

2. 子宮がんに関する講演会について

協議事項1で記載した通り、今年度は子宮がんに関する講演会を計9回行うことで承認された。開催日時や会場については今後依頼先と調整することとなった。

3. がん診療連携協議会HP（普及啓発部会）のリニューアルについて

今回新たに沖縄県がん診療連携協議会のホームページをリニューアルするにあたって新たに追加する項目について協議したが、これまでの情報量で充分であるという意見に達し、特に追加項目は挙がらなかった。

次回の部会開催日時・・・5月18日（火）15：00～ 小会議室